

製品ラインナップ

※各商品は開発中のものであり、実際の商品とは異なる場合があります。

高さが5段階に変えられ、タイヤプランターや植木鉢などの植付けができます。

回転式プランターテーブル

天板が回転するプランターテーブルです。天板の上にオプションのタイヤプランターや鉢をセットして使用します。

ステンレス素材、W×H=直径：小600～大800×450～750mm（上下5段階可動式）



ハイヒールでも根菜ができます。

タイヤプランター

廃タイヤをリユースした7色のカラフルなプランター。タイヤプランターを積み重ねて、大根などの根菜を育てることも想定しています。タイヤと土の間にはプラスチックのシートを挟んでいます。

W×H=直径550～750×300～450mm



簡単な操作でらくらく移動!

タイヤプランター専用運搬クレーン

土の入った重たいタイヤプランターを持ち上げ、移動させるためのクレーンです。プランターテーブルの上で楽しんだ後は、好きなところにタイヤプランターを移動し、かざることができます。

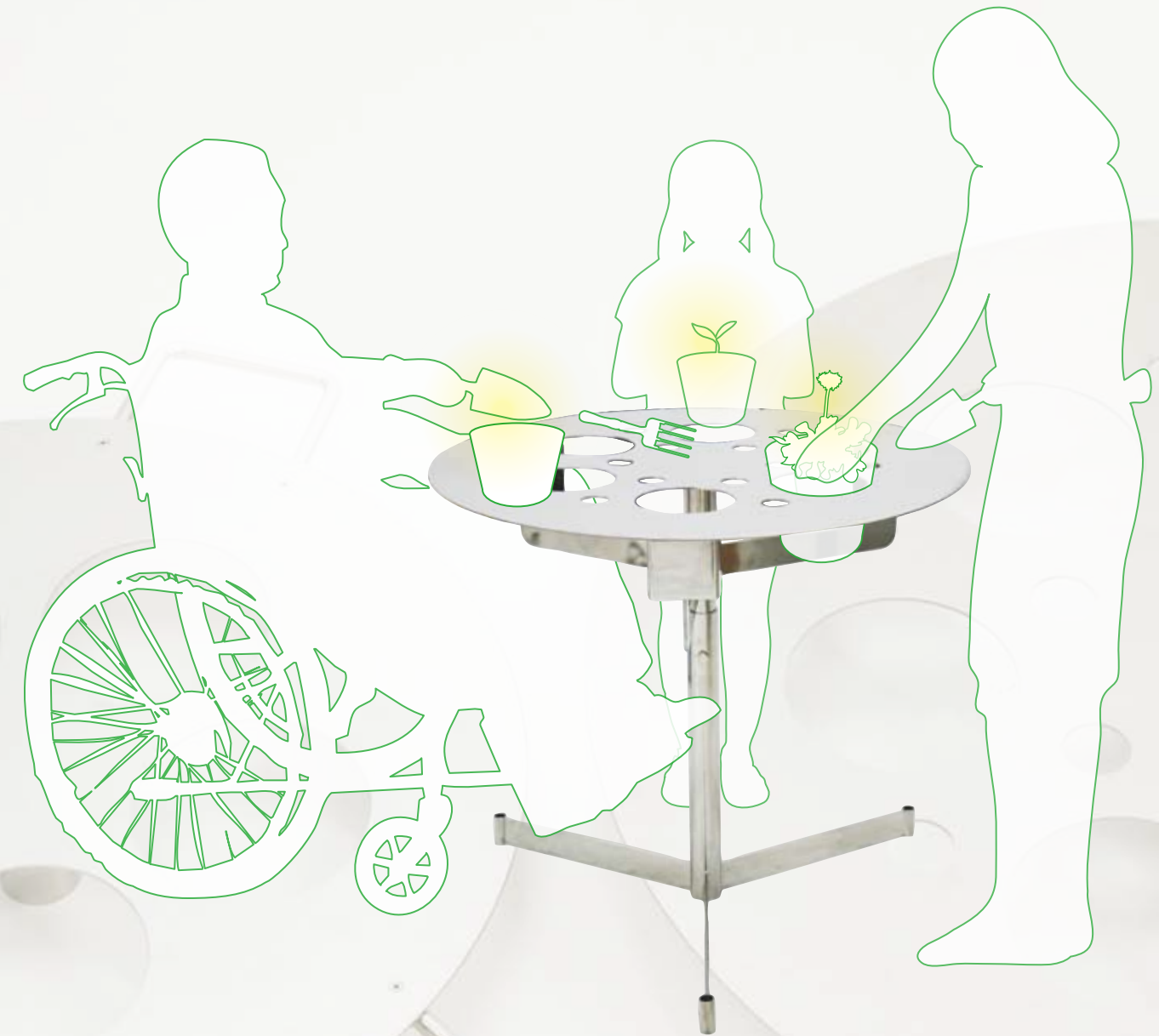
W×H=1,270×1,630mm

(ウインチ部までの高さ：1,330mm)



1	1. 座ったままでも、テーブルの隅々まで植物の世話を行えます。自分が移動しなくてもテーブルを回転させることで、テーブル上の全ての植物に水やりをしたり、お手入れすることができます。
2	2. 大人や子ども、車いすなどの様々な身体条件に合わせて、高さを調整できます。ローラー部の中心ボールには調節用の穴が段階的にあいています。ローラー部を上げ下げし、お好みの高さの穴にボルトを通すことで天板の高さを調整できます。
3	3. 様々な目的で使える、多目的な天板。オプションのタイヤプランターを載せての植え方はもちろん、市販のポットを穴にはめ込んで使うこともできます(左上写真)。また、天板に台を置けば、普通の回転テーブルとして利用することも可能です。

ユニバーサルデザインを目指した 回転式プランターテーブル



これは、日常生活の中で花や野菜等の植物を、気軽に植えられることを目指したプランターテーブルです。どこでも、だれにでも、植物を植える楽しみを一。目指したのは、「ユニバーサルデザイン」の視点からの開発です。

ユニバーサルデザイン (UD) …身体能力などに合わせた特別なものづくりではなく、すべての人にとって、できる限り利用可能であるようにデザインすること。1990年代に米国の建築家ロン・メイスが定義しました。

農あるライフ Project

「農」は、生きるすべての人に関わっています。私たちの食、生活、生きることの根底には、はるか昔から農耕が深く関わっていました。農の中には文化があり、生活の楽しさがあります。いつもすぐそばにあったはずの「農」を、もう一度見つめ直し、取り入れて、私たちの暮らしと調和させること。それが農あるライフの目指す社会です。

【農あるライフ プロジェクトメンバー】

- 藤代範雄 (ニューヨーク・アートディレクターズクラブ会員, JAGDA 運営委員)
- 西尾浩一 (筑波大学大学院にて博士号取得, 福井工業大学講師)
- 秦野彰二 (上海研究所, 東京大学大学院農学部農学博士)
- 横山和成 (農学博士), ■ 櫻本直美 (農学博士), ■ 細谷憲 (東北大学教授, 理学博士)
- 蘇敏哲 (藤代範雄デザイン事務所, 筑波大学大学院博士課程在籍)
- 西條友弥子 (藤代範雄デザイン事務所, 筑波大学大学院にて修士取得)

お問い合わせ先

〒311-3508 茨城県行方市霞ヶ浦ビレッジパーク芸術村 株式会社藤代範雄デザイン事務所
Tel:0299-57-0702 Fax:0299-57-0261 y-saijo@fujishiro-design.jp (西條)

FUJISHIRO-DESIGN

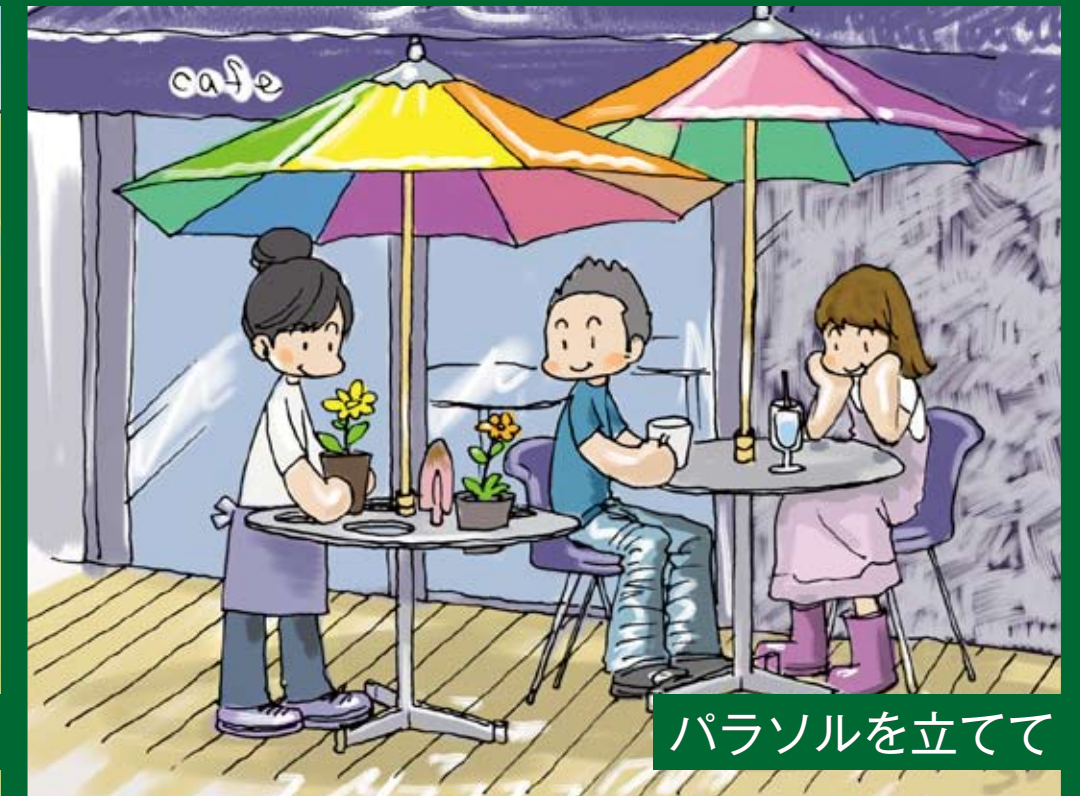
生きる喜び、育てる喜び。すべての人に、あらゆる場所で。



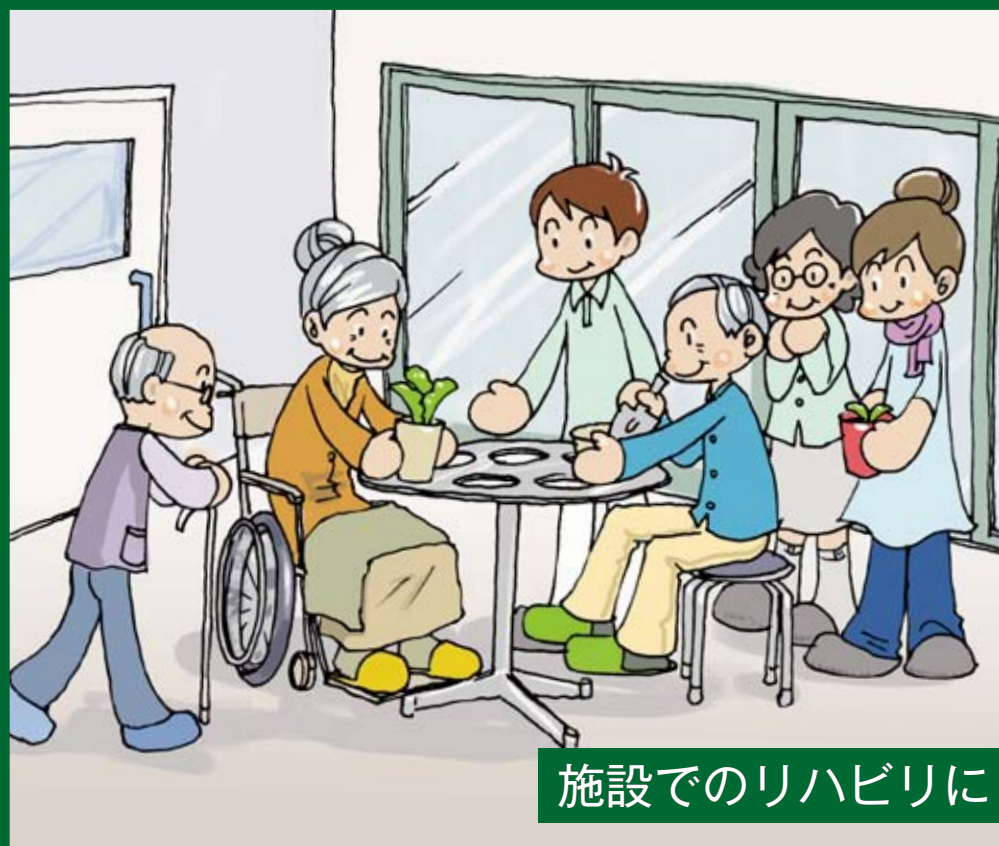
ビルの屋上で



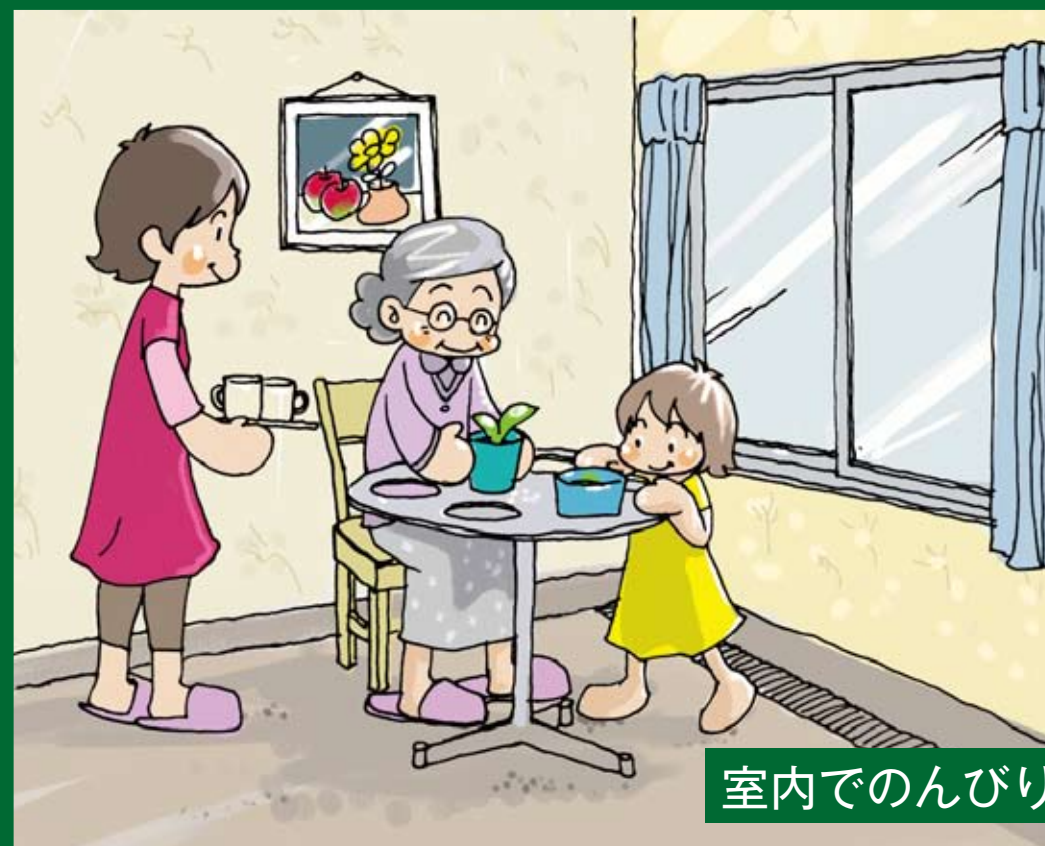
広々とした公園で



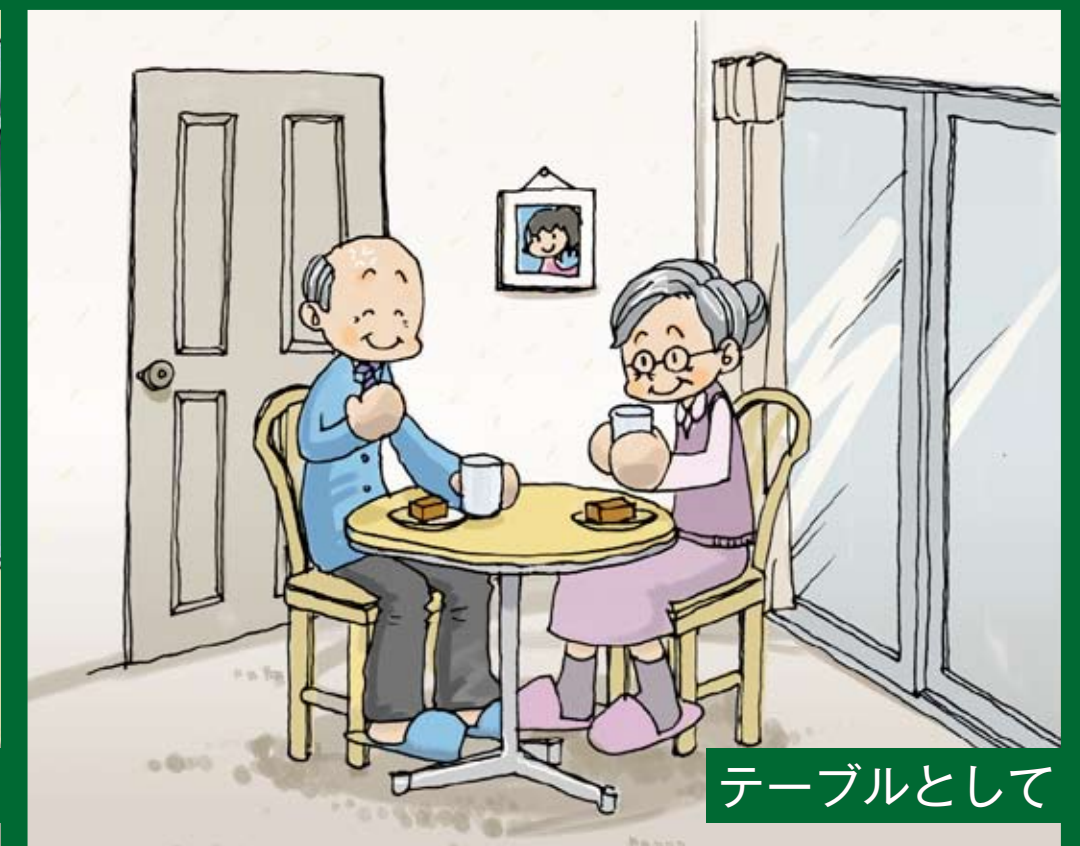
パラソルを立てて



施設でのリハビリに



室内でのんびり



テーブルとして



いのちの大切さ、食の大切さ、それを再認識し再価値化することが、地域を育てる基本です。「農あるライフ」に共感し、できることから始めたいと思います。

応援します、
農あるライフ。

筑波大学 人間総合科学研究科芸術専攻 教授
蓮見孝